

スーパーロングスパンタイプの立体駐車場について



4層5段・5層6段

大臣認定取得

工法の性能比較

従来の工法

柱があることで

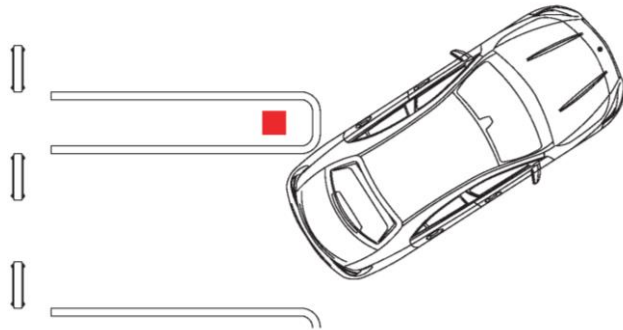
- ・ 接触し易い
- ・ 狭く窮屈
- ・ 視認性が低い

スーパーロングスパン

柱の無い、最大17mの空間が可能

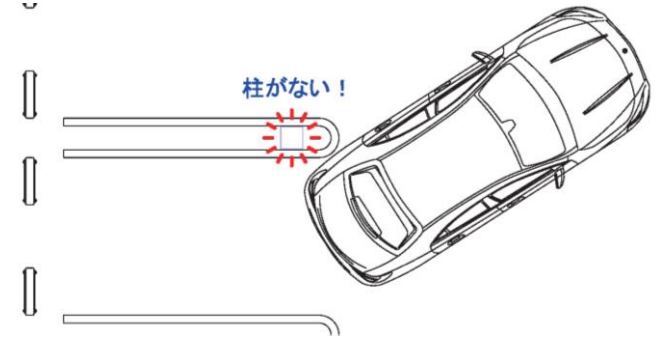
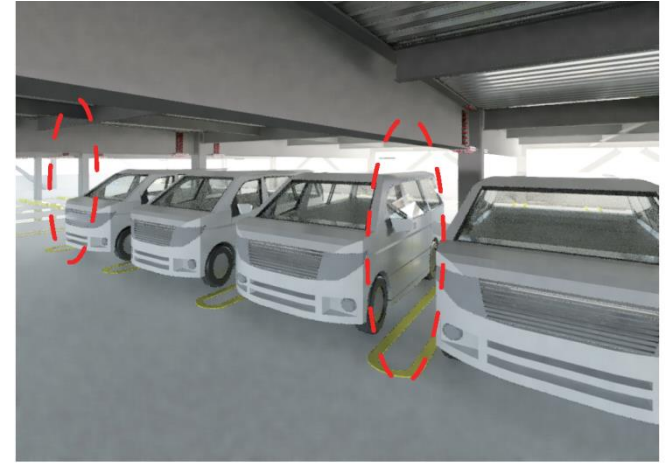
工法の性能比較

従来の工法



- ・ 柱がある為、接触リスク有り
- ・ ドアの開閉の妨害
- ・ 柱が視界を妨害し暗くなる

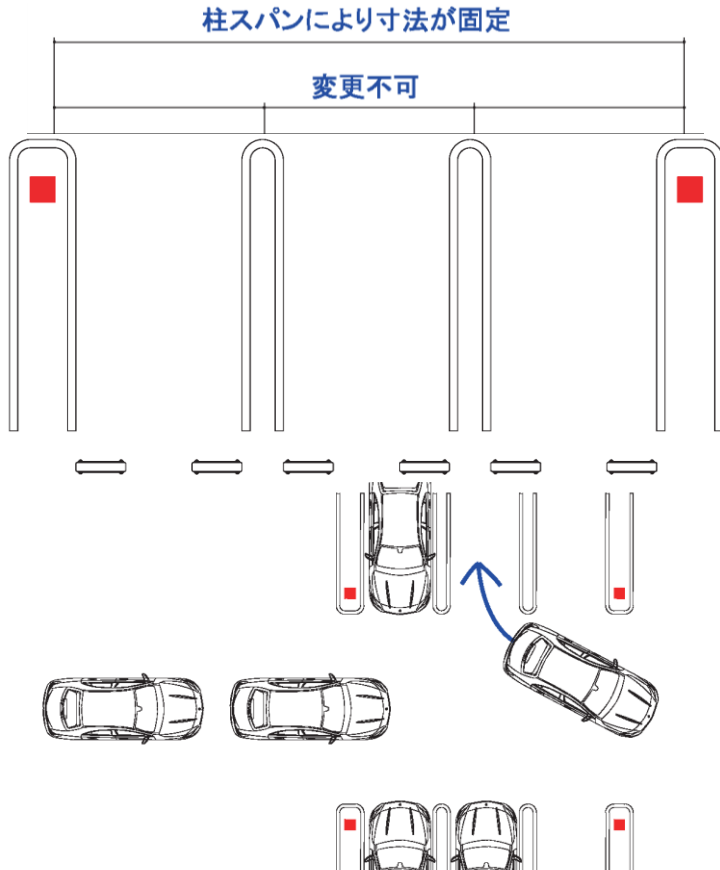
スーパーロングスパン



- ・ 柱少なくなる為、接触リスク軽減
- ・ ドアの開閉が容易
- ・ 柱が無くなり広く、明るく見える

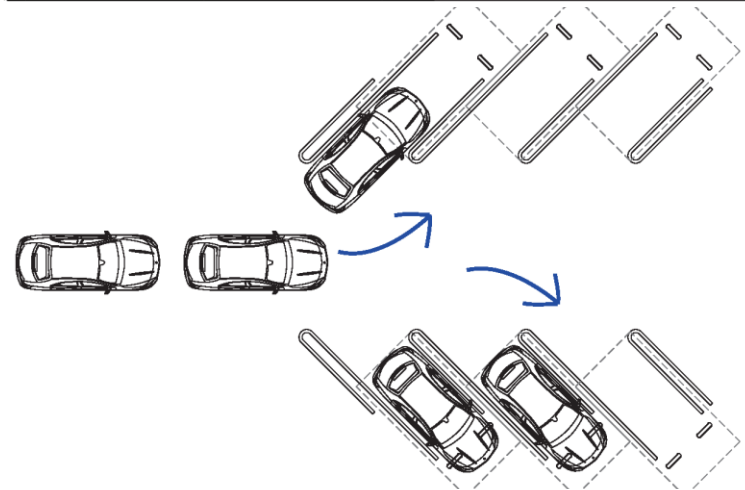
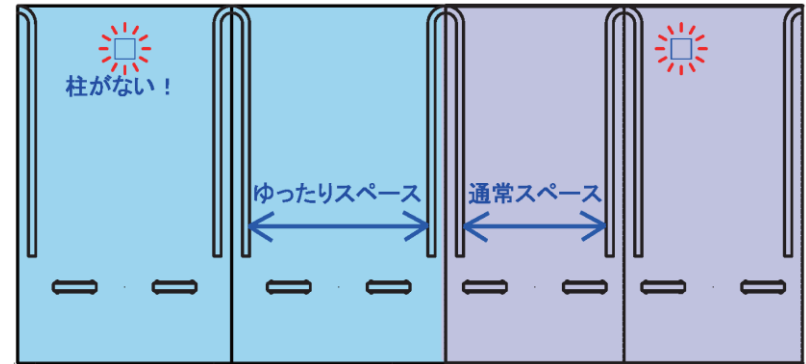
工法の性能比較

従来の工法



- ・ 柱スパンを基準とした車室割り
- ・ 優先車室を設けると台数効率低下
- ・ 混雑時には駐車待ちが発生

スーパーロングスパン



- ・ 台数効率の良い車室配置を実現
- ・ 車室サイズを自由に設定可能
- ・ 渋滞緩和の斜め駐車可能